

松本順志様（岐阜県健康福祉部次長）にご講演いただきました

SD 探究 1 【1年生の総合的な探究の時間】

令和5年11月10日（金）、「総合的な探究の時間」（1年生）に岐阜県健康福祉部次長の松本順志様にご来校いただき、『県職員という仕事について』と題し、ご講演をいただきました。県職員という仕事の魅力を熱く語られ、生徒の心に響く内容をお聞かせいただきました。『法律・道徳に反することがなく、世のため人のためにできる仕事』は全て素晴らしい仕事というお言葉は特に印象的でした。県職員としての自覚、岐阜県を支え、さらに良くしていくという志を生徒はしっかりと受け止めたと思います。最後にお話しされた、「乗車券（考える力）と特急券（共感力・人との関わり）」は県職員を目指す生徒のみならず、多方面で重要になると感じました。



〈生徒の感想〉

- ・公務員として県庁で働くことに対して、少し堅いイメージや、特定の部でなければ岐阜県全体を回りながら自由に仕事を行いにくいイメージがあったが、自分でプロジェクトを企画して自由に活動をできることが印象的でした。
- ・自分が聞いたことのない、知らない話をたくさん聞かせていただけて、とても興味深く、楽しかったです。県庁職員の仕事はよくわからない事が多く、イメージしづらかったけど、今回の話でとてもイメージしやすくなり、進路を考えるときに役立てたいと思います。
- ・事務をコツコツ行っている地味な仕事というイメージがあったけれど、公共施設を建設するための案を考えて提出したり、予算を設定して実際に建設したりしていることが分かって、常に県民のことを考えて仕事をしていることがわかりました。
- ・公務員というテーマから、松本さんの経験、歴史、求められる姿など有益な情報がたくさんあったし、松本さんの話が興味深く感じました。